

みんなでチャレンジ！ 公民館等職員実践研修

～事業を通じた人づくり～

3
P. 10. 17

全4回シリーズ

事業のまとめ～事業のふり返りとまとめ方のポイント・作成～

【演習①】「進捗状況の紹介・ふり返り」 ※人づくりの視点をもってふり返る

進捗状況の紹介

①誰を対象（参加者） ②誰と（協力者） ③人づくりのねらい ④内容

おしゃべりハンドメイド 第2弾 リメイクde癒しの匂い袋編 (浜田市) ①地区住民 ②地域の方が講師 ③実績を重ね、主体性を伸ばす。 ④家に眠っているあまり布（古着）を使って、癒しの匂い袋をつくる。	匹見っ子と和太鼓演奏 ～たたいてスッカリ!!みんなで笑顔～ (益田市) ①地域住民 ②和太鼓奏者・和太鼓グループ ③地域の方との交流が増えることで、社会性・共感力・コミュニケーション力の向上が見込まれる。 和太鼓の演奏を通じて、地域での繋がりが孤立を防ぎ、安心感や生きがいにつなげる。 ④小中学校の和太鼓チームが地域住民に和太鼓演奏の楽しみ方を教え、一緒に演奏する。
ハロウィンパーティー in木田暮らしの学校 (浜田市) ①地区住民・子ども・保護者 ②島根県立大学BBSサークル ③地域の関係人口を増やす。 大学生と関わることで、地域住民が元気になる。 ④木田暮らしの学校でハロウィンパーティーを開催。	大元神楽のことをもっと知ろう 切り絵を切ってみよう (江津市) ①小学生 ②宮司・サタデースクールスタッフ ③コミュニティ事業へのかかわり回数が増える。 コミュニティに対する意識の変化。主体的に活動する。 ④宮司さんによる大元神楽についての説明と神事に用いられる切り紙を切るにより伝統の継承につなげていく。
みんなのえんがわ ふらっと (吉賀町) ①小学生 ②株式会社森の環・食改 ③経験やアイデアを生かせる場づくり。 ④地域の方に教えてもらい川遊び、カレー作り、屋台作り、お弁当作り。	みんなの田んぼ&食堂（交流事業） (津和野町) ①地域住民（保・小・中・高校生・保護者） ②高校1年生・地域住民 ③「やりたい」がある、高校生主体の活動を通じて住民の意識と行動の転換を目指す。 通常の公民館事業への参加者は参画へ、参加の少ない年代や男性は参加を促す。 ④食を通じた交流の場（食材づくり→食堂）
みらい交差点 (美郷町) ①多世代（子ども・親・高齢者） ②高齢者サロンの代表者 ③子どもと高齢者の"かけ橋"となり、つながりの輪を広げる。 ④事業をとおして多世代交流（地域歩き、クラフト、料理教室、eスポーツ）	みんなの田んぼ&食堂（交流事業） (津和野町) ①地域住民（保・小・中・高校生・保護者） ②高校1年生・地域住民 ③「やりたい」がある、高校生主体の活動を通じて住民の意識と行動の転換を目指す。 通常の公民館事業への参加者は参画へ、参加の少ない年代や男性は参加を促す。 ④食を通じた交流の場（食材づくり→食堂）
～地域に学び 地域に還元～つなげる三隅 (浜田市) ①地域の方、主に小中学生 ②地域の中学生 ③次世代の担い手を育成すると同時に「まちづくり活動」に新しい風を吹き込むことで、現委員や地域住民の士気を高める。 ④子どもまちづくり委員が、三隅の魅力について学んだことを「手作りかるた大会」「シーグラスワークショップ」「自作映画がの上映」を通して参加者に還元する。	古民家を利用したサードプレイスの現実 （地域住民が集える場となるように） (浜田市) ①地域住民 ②県大生 ③集まる場（きっかけ）を作る。 古民家利用の有用性を理解してもらうために、認識の方向性が同じ人達を結集させる。 ④古民家の再利用

ふり返り

一部抜粋



どのような方法で評価しましたか？

- ・参加人数や参加者の様子から
- ・アンケート（参加者・協力者）
- ・ふり返りの会（協力者）
- ・聞き取り（参加者・協力者）



ここが良かった！

（巻き込み方・主体性の高め方・その他事業全体から）

- ・地域の方が協力してくれた
- ・会議の日は設定せず、出会ったタイミングで行った
- ・参加者が協力者になった
- ・協力者の主体性を高めるため奔走をていねいにした
- ・事業がシリーズ化しやすい内容にした



改善点と今後の展望

- ・地域全体に広がっていきたい
- ・今後も事業継続していきたいので、みんなチャレで知り合った公民館（センター）と交流したい
- ・地域活性化につなげたい



【説明】「プレゼンテーションのポイント」

情報を伝えるために大切にしたい7つのこと

その1 目的を明確にしましょう！

★何のために伝えるのか（目的）を明確にすることが大切です。

その2 とことん聞き手目線で準備しましょう！

★聞き手のことを具体的にイメージすることが大切です。

子ども	高齢者の方	同僚・同業者	外部の方
・短時間で簡単な言葉で ・写真など多くなど	・ゆっくり、大きな声で ・敬意をもってなど	・無駄を省く ・専門性を入れるなど	・見せ方に注意 ・分かりやすく ・前提から丁寧になど

その3 まずは構成を検討しましょう！

- ★まずは相手に伝えたい情報のまとまりを整理することが大切です。
- ★そのために、伝えたい情報を箇条書きで書き出しましょう。

代表的な構成法(SDS法)の紹介

Summary 概要 ➡ Detail 詳細 ➡ Summary まとめ

その4 根拠で説得力を持たせましょう！

★根拠となる材料をプラスすることで、説得力がアップする。



その5 言葉の力を高めましょう！

- ★01 聞きやすい声で届けよう
○一番遠い席の人へ向けて声を飛ばすイメージで！
○「読む」ではなく「伝える」
- ★02 つなぎ言葉でストーリーをつくろう
○ストーリーにすることで共感を生み、分かりやすく印象にも残る。
○つなげる言葉を上手に使う。
- ★03 無駄をそいで言葉を磨こう
○無駄のない簡潔な説明で分かりやすく。
○自分の伝えたいことが相手に伝わるように言葉を磨いていく。

その6 言葉以外の力も高めましょう！

- ★01 目線を意識しよう
○会場全体へ目線
○原稿を読み続けるだけでは伝わりにくい。
○ワンセンテンス ワンパーソン
- ★02 表情で共感を生もう
○基本は笑顔（^・^）
○豊かな表情
- ★03 体を使いこなそう
○姿勢や立ち位置
○身振り手振り・オーバーアクション

その7 レイアウトと配色でストレスを低減させましょう！

- ★無駄な強調はストレスにつながります。
- ★要点を理解しやすいデザインにすることが大切です。

【ふり返り】

実践発表交流会に向けての意気込み！

- ・自分らしく笑顔で元気にやりきる!!
- ・いい資料を作ります。
- ・笑顔で自分らしく!!
- ・おもしろい紙芝居つくろう！
- ・地域の良さをアピールする!!
- ・楽しかったイベント！
みんなの笑顔が伝わるように!!
- ・パワーポイントデビュー！
- ・“楽”
- ・楽しみながら作ってみる！

スタッフからのエール

型にはまらず自分らしいプレゼンを！

失敗はありません!!

事業を行ったことが何より素晴らしい！

楽しんで事業づくりを

思いのキャッチボールを楽しもう

楽しみ みなさんにとって！
参加者の方にとって！

仲間がいる！

発表は団体戦!!

誰にとっても学びの場

姿勢○ 自信をもって!!

自信をもって自分らしく



プレゼン資料の作成

資料作成で気になることをお互いにアドバイス



プレゼンテーション作成シートの記入・PC入力

プレゼン資料の紹介



グループ内で作成したプレゼン資料の紹介（概要4ページ）

受講者アンケートより

- ・他の公民館の方と事業や地域について、何のしがらみもなく話せる同志ができた。
- ・楽しい発表になるよう言葉のそぎおとしとチョイス、頭をひねろうと意欲がわきました。
- ・今までやってきたことの思いがグループの人に伝わって良かった。
- ・グループの方が作られている資料をみて、資料作成について勉強になりました。